

上椎葉

KAMISHIBA

椎葉村の中心地

地区の概要

上椎葉地区は人口約 770 名で、椎葉村内で最も人口の多い地区です。椎葉村の中心に位置し、役場や病院、スーパーなど村の主要な機能が集約されています。日本初の大型アーチ式ダムとして知られる上椎葉ダムがあり、2020 年には交流拠点施設 Katerie（かてりえ）がオープンしました。



地区の未来像

賑やかな過疎



作成の過程

地区住民なら誰でも参加できるワークショップ「上椎葉みらい会議」を2回行いました。その後、公民館長や役員会などの皆さんと打ち合わせを行い、地区住民による内容の校正を経て完成しました。



プロジェクト

01 皆で楽しむ！ 上椎葉チャンネル！！

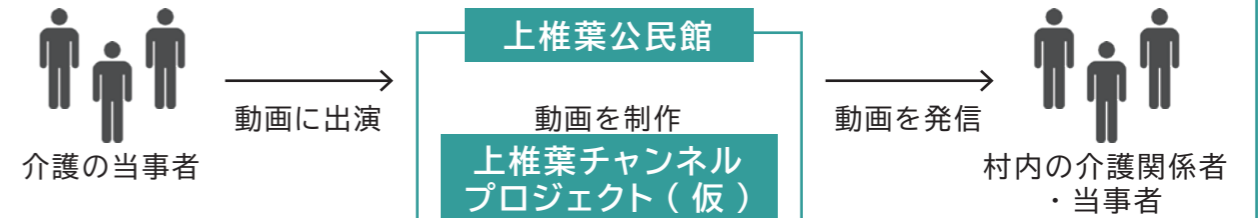
概要

介護のことを楽しく学べる動画を作成し、村内放送や SNS などを使って発信する。動画の内容は、寸劇を交えたノウハウの提供、住宅の改修について、認知症予防の体操の配信など。

目的

暗くなりがちな介護や福祉の課題について、楽しく情報発信をすることで前向きに取り組みたい。

実施体制



プロジェクト

02 平成17年を忘れない 防災プロジェクト

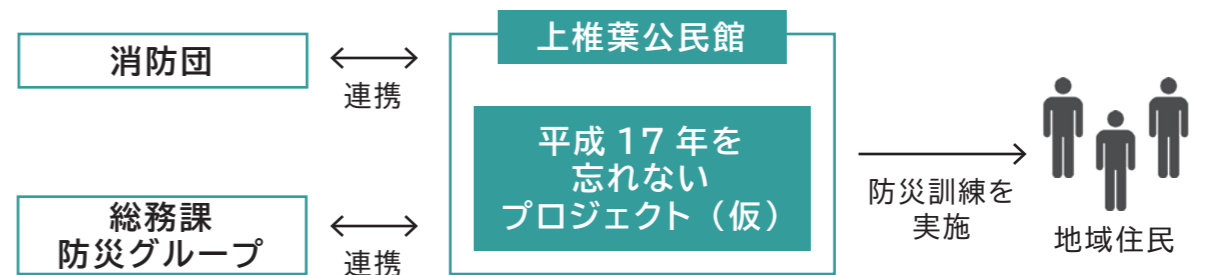
概要

関係機関と連携し、地区住民参加の防災訓練を実施する。

目的

住民の命を守るため、災害に備えて地域の防災意識を高めたい。

実施体制



プロジェクト

03 1軒からはじまる
商店街ワイワイプロジェクト

概要

補助に頼らない事業として店舗の有効利用ができるように、事業者の募集や空き店舗の大家との交渉などを進める。

目的

上椎葉商店街の空き店舗が年々増加している。地域活性化のために空き店舗を有効活用したい。

実施体制



プロジェクト

04 プロジェクト KANPAI

概要

地域住民が気軽に交流できる機会をつくるため、公民館でプロジェクトチームをつくり交流会を企画開催する。
例) 平家祭りで使用している大鍋を使った大鍋大会を別のイベントと合わせて実施

目的

上椎葉は仕事で赴任してきた方や嫁いできた方など地元以外の方も多く住んでいる一方、交流の機会は減少している。世代や職種を超えた新たな交流の機会をつくりたい。

実施体制



地域住民の声

上椎葉みらい会議には多くの方が集まり、様々な意見が出ました。どれも今の地区の現状と課題をしっかりと捉え、なんとかしたいという思いが伝わるものでした。そこから議論を重ね、理想論ではない地に足のついたプロジェクトを生み出せたと思っています。また、普段は深く接する機会の少ない若い世代とも話してみると、しっかりとした意見を持っていて、大変頼もしく感じました。

これからの上椎葉や椎葉村を考える上で、私は「賑やかな過疎」という言葉を目指して胸に掲げています。椎葉において、人口減少に伴う過疎化は避けられず、受け入れなければならない事実です。どうにかして人を増やそうとか、過疎から脱却するためということばかりに囚われず、この地ならではの良さを楽しむことが大切ではないでしょうか。

「賑やか」というのは、お年寄りが集まっても賑やかになるし、魅力ある商店づくりをすれば、自ずと人は集まってくると思っています。一人一人が地域に生きがい、住みがいを感じ、その環境を互いに支え合って保っていくことのできる賑やかな地区を目指して、プロジェクトを実行していきたいと思っています。

館長の思い
中園 騰
(なかぞの のぼる)那須 寿美
(なす すみ)

地区の困りごとを解消するために自分たちで動きたいという気持ちはあっても、皆それぞれに仕事や家族のお世話などがあり、なかなか行動に移すのは難しいものです。そんな中、私個人として今は子どもも手が離れてきた時なので、今回のみらい会議があったことはとてもありがたかったと思っています。

プロジェクトの一つで、介護を楽しく学べる動画チャンネルづくりを行うこととなりました。高齢になって動けなくなると、なかなか外に行けなかったり、入ってくる情報が限られてしまい、家族や近い人との会話も少なくなると心身の孤立にもつながります。

私は看護師をしている仕事柄、介護は身近なこととして捉えています。親の介護の必要性が目前まで来ても現実として受け入れることが困難であったりといった、介護する側の戸惑いがあるのも理解できます。そういった介護する側、受ける側双方へ向けたためになる情報を、笑いを交えて楽しく発信し、椎葉での前向きな老後を応援するお手伝いできればと思っています。できる人が、少しでもできることをやれば、きっと現状は変わるのではないかとこの気持ちで取り組んでいきます。